

SJクイズ

[問題編]

Q¹

2018年から2022年までの5年間で、人対車両の交通死亡事故は5,019件発生しています。このうち、歩行者が横断中の割合は約何%でしょう？

- ①約48% ②約58% ③約68%

Q²

人対車両の交通死亡事故件数（2018～2022年までの合計）のうち、歩行者が横断歩道（横断歩道付近含む）以外の場所を横断中の割合は約何%でしょう？

- ①約17% ②約27% ③約37%

Q³

2022年の歩行者（第1当事者※）の違反別・交通事故件数をみると、最も多い違反は信号無視で、その次に多いのが道路横断に関するものです。道路横断の違反で最も多いのはどれでしょう？

- ①横断禁止場所の横断
②横断歩道以外の横断
③走行車両の直前・直後の横断

※交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。



【使用上の注意】

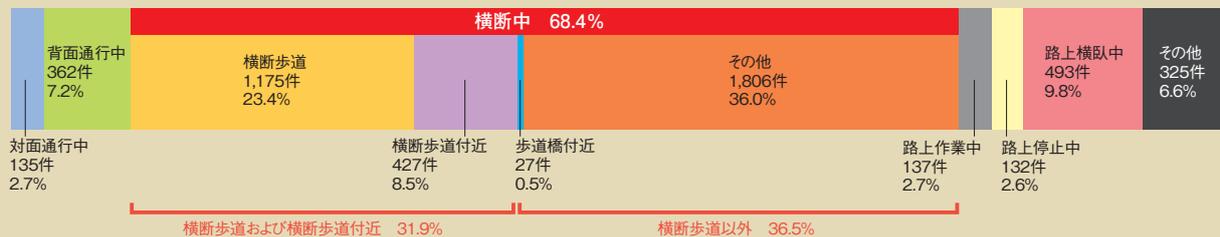
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ③約68%

<解説>

人対車両の交通死亡事故5,019件のうち、歩行者が横断中は3,435件で68.4%を占めている。さらに、横断歩道およびその付近で発生しているのは31.9%である。ドライバー・ライダーは、信号機の有無にかかわらず横断歩道を通過する際は、渡ろうとする歩行者や横断する自転車がいないか十分に確認し、歩行者がいる場合は歩行者保護に努めなければならない。

●人対車両の事故類型別・交通死亡事故件数(2017~2022年の合計)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター資料

Q2 解答 ③約37%

<解説>

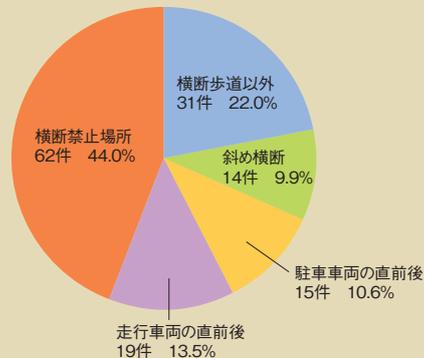
人対車両の交通死亡事故5,019件のうち、歩行者が横断歩道（横断歩道付近含む）以外の場所を横断している時に発生したのは1,833件で36.5%（上グラフ参照）を占めている。ドライバー・ライダーは、横断歩道以外でも歩行者が道路を渡ってくることを意識しておく必要がある。特に路肩に駐車車両がいたり、対向車線が渋滞していたりして、横断する歩行者が発見しづらい状況では十分に注意してほしい。

Q3 解答 ①横断禁止場所の横断

<解説>

歩行者が第1当事者となった交通事故640件を違反別にみると、道路横断の違反は141件あり、そのうち「横断禁止場所の横断」は62件と最も多い。歩行者は、「歩行者横断禁止」の標識のある場所では横断してはいけない。横断歩道や信号機のある交差点（歩道橋や横断用の地下道）が近くにある時は、その横断歩道や交差点で横断しなければならない。歩行者も道路を横断する際、交通ルールを守って行動することが事故防止につながるのではないだろうか。

●歩行者(第1当事者)の違反別・交通事故件数における道路横断の違反内訳(2022年)



出典：交通統計（令和4年版）

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736